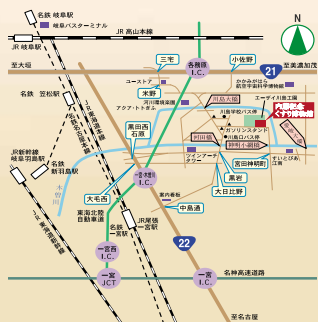




# くすりの夜明け

～近代の薬品と看護～

開催期間 2008年7月23日(水)～2009年3月29日(日)



内藤記念くすり博物館・内藤記念科学振興財団

監修 石坂哲夫(薬学博士)

# くすりの夜明け

～近代の薬品と看護～

会期 2008年7月23日(水)～2009年3月29日(日)

■開館時間/9:00-16:30 ■休館日/月曜日・年末年始 ■入場料/無料



私たちは日頃医薬の恩恵をごく普通のことのように受けていますが、日本で誰もが十分恩恵を受けられるようになったのは、第二次世界大戦が終わってからのことです。しかし、現在、近代から戦前にかけて、また戦後すぐの時代の医薬がどんなものだったのか、知ることは難しくなっています。これは、戦時中や戦後の混乱期に失われたものが多いことと、復興の途上で、あるいは医薬の進歩のおかげで古いものを処分してきたためです。現代の医薬について理解を深めていく上でも、近代の医薬を知っておくことは必要です。それは、近代に創製されたさまざまな医療技術や薬品が、現在の医薬の基礎となっているからです。先人たちがどのような努力を積み重ね、薬品を創製してきたか—ぜひその足跡をたどってください。

## 主な展示資料

### ■ 医薬品

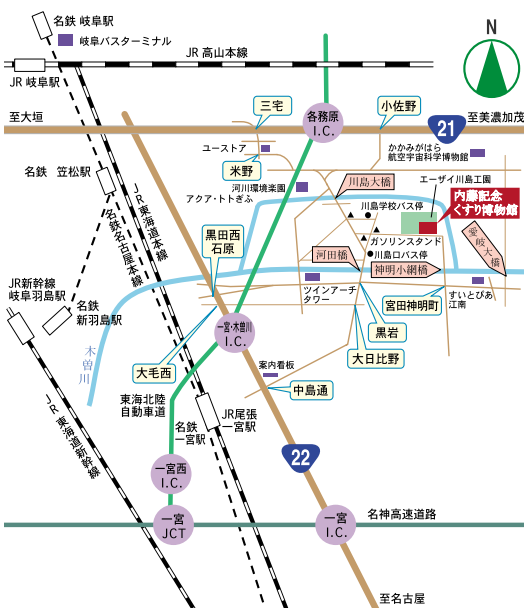
- ・ ペニシリン (青カビから発見された抗生物質)
- ・ 碧素 (第二次世界大戦末期の国産ペニシリン)
- ・ キニーネ (キナの樹皮から作られるマラリアの特効薬)
- ・ ジギタリス葉 (ジギタリスの葉に由来する心臓病の薬)
- ・ アスピリン (ヤナギやセイヨウナツユキソウから抽出されたサリチル酸に由来する解熱剤)
- ・ マーキュロクロム (赤チン)
- ・ 肝油 (メガネ肝油など)

### ■ 衛生資料

- ・ ポスター「衛生は幸福の基」
- ・ ポスター「通俗衛生図解」
- ・ 食べ合わせを紹介したちらし
- ・ 絆創膏 (缶入り)
- ・ 蚊取線香 (棒状)
- ・ 天花粉 (シッカロールなど)

### ■ 器具など

- ・ 薬架
- ・ 聴診器 (筒状)
- ・ 体温計 (留点付)
- ・ 大正時代の救急箱
- ・ 吸入器
- ・ 氷嚢 (紙製) と氷嚢釣
- ・ 哺乳瓶 (ガラス製)



## 【交通のご案内】

- 岐阜より
  - 岐阜バス「川島松倉」行「川島中学校前」下車(40分)、徒歩1.5km
  - 車で15km(40分)
- 新幹線岐阜羽島駅より
  - 車で18km(50分)
- 名古屋より
  - JR東海道線「尾張一宮」で下車(20分) バスカタクシー乗換え
  - 名鉄名古屋本線「名鉄一宮」で下車(20分) バスカタクシー乗換え
- 一宮より
  - 車で一宮 I.C.より12km(35分)
  - 名鉄バス「川島」行きで「川島口」下車(25分) 徒歩1.5km

## 内藤記念くすり博物館

〒501-6195  
岐阜県各務原市川島竹早町1  
Tel.0586-89-2101・Fax.0586-89-2197  
ウェブサイト「くすりの博物館」  
<http://www.eisai.co.jp/museum>